

# 栃木県教育委員会定例会会議録

令和2(2020)年10月13日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員会室に招集した。

1 出席者(教育長及び委員)は次のとおりである。

1番(教育長)	荒川	政利
2番	鈴木純	美子
3番	工藤	敬子
4番	金子	達也
5番	陣内	雄次(欠席)
6番	板橋	信行

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	北條	俊明
教育次長	中村	千浩
総務課長	伊澤	純一
義務教育課長	柳田	伸二
高校教育課長	吉田	眞樹
競技力向上対策室長	青井	智也
総務主幹	小平	知久

3 午後3時00分、教育長及び委員4名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、教育委員に10月1日付けで金子達也委員が再任されるとともに、吉澤慎太郎委員が9月30日に任期満了で退任され、10月1日から新たに板橋委員が就任された旨を告げた。

5 教育長は、本日の会議録署名委員に3番工藤委員を指名した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報告

(1) 令和3(2021)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について教育長から説明を求められ、義務教育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委員]

- ・ 介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考で、年齢別などで特徴があれば教えてほしい。

[事務局]

- ・ 今、手元に資料がないので、後ほど回答する。

[教育長]

- ・ 近県の状況が分かれば教えてほしい。

[事務局]

- ・ あくまでも受験者数を募集人数で割った推計倍率だが、茨城県 2.9 倍、群馬県 4.4 倍、福島県 3.6 倍、埼玉県 3.2 倍、東京都 2.9 倍、千葉県 2.9 倍となっている。

[委員]

- ・ コロナによる影響があったのか、また、障害者の受験者数と合格者数を近年の比較を含めて教えてほしい。

[事務局]

- ・ コロナの影響だが、受験者に検温の依頼、手指の消毒、マスクの着用など基本的なことは行った。2次試験における小学校実技試験を中止したり、体育の実技では感染リスクの高い種目は他の種目へ変更したりした。面接試験では、受験者の表情が分かるように、ソーシャルディスタンスをとりながら、アクリル板を設置して面接を行った。コロナによる倍率の変化はこれから調べていく。  
また、障害者の方で教員免許を取得している方が少ないということもあり、障害者の受験者数については、中学校 2 名、小中学校養護教諭 1 名、特別支援学校 1 名の 4 名であり、合格者は 2 名となった

[委員]

- ・ 合格者数が総合計で昨年度より 60 名近く減っているが、採用計画自体が少なかったということか。

[事務局]

- ・ 今年度末の退職者数、来年度の学級数等を勘案した採用となっている。

- (2) 中・高校生全国大会優勝者・指導者知事表彰について  
教育長から説明を求められ、競技力向上対策室長が説明した。  
この報告に関して、出席者から質問や意見はなかった。

- 8 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午後 3 時 17 分、閉会した。